

基礎データ	枚方市	寝屋川市	四條畷市	交野市
負担額（令和2年度）	167,773,442円	109,386,061円	44,005,009円	51,144,054円
人口（令和2年9月30日）	399,923人	230,738人	55,526人	77,672人
世帯数（令和2年9月30日）	182,156世帯	110,855世帯	24,640世帯	33,103世帯
搬入量（令和2年度）	5,203.50t	4,321.32t	592.51t	1,042.20t

- 表 1 -

構成4市の負担金割合は、均等割10%、人口割40%、世帯割45%で運営されている。

その負担金割合を令和3年11月に行われた組合議会における私の提案で均等割20%、人口割20%、搬入量割60%とした場合、表2の差額を生じることがわかった。

枚方市	167,773,442円 → 162,291,880円 差額 ▲ 548万1,562円
寝屋川市	109,386,061円 → 128,469,675円 差額 + 1,908万3,614円
四條畷市	44,005,009円 → 35,007,392円 差額 ▲ 899万7,617円
交野市	51,144,054円 → 46,539,619円 差額 ▲ 460万4,435円

- 表 2 -

本市で一年間8,997,617円負担金が減る計算。つまり、毎年約900万円近く損をしていた計算になり、負担金割合が是正されない限りこれからも続くことになる。

そして、令和4年2月に行われた組合議会において、構成4市負担金を市ごとに人口・世帯数・収集量で割った処理経費の実績を質問し、その答弁を整理したのが表3の内容。

	人口1人当たり	1世帯当たり	収集量1t当たり
枚方市	420円/人	921円/世帯	32,242円/t
寝屋川市	474円/人	987円/世帯	25,313円/t
四條畷市	793円/人	1,786円/世帯	74,269円/t
交野市	658円/人	1,545円/世帯	49,073円/t

- 表 3 -

表3より、四條畷市は全ての項目で他の3市よりも高くなっているのがわかる。特に収集量1t当たりのペットボトル及プラスチック製容器包装（以下、「廃プラ」という。）を処理するのに、本市は寝屋川市の約2.9倍も負担、同様に、枚方市は寝屋川市の約1.3倍、交野市は寝屋川市の約1.9倍。

理由は、表4に示した通り、表1の搬入量を人口で割った1人当たりの数字です。

	収集量	1人当たり
枚方市	5,203.50t	13.0kg/人
寝屋川市	4,321.32t	18.7kg/人
四條畷市	592.51t	10.7kg/人
交野市	1,042.20t	13.4kg/人

- 表 4 -

四條畷市市民は、他の3市市民より廃プラを出す量が少ない。でありながら、搬入量割を導入していないのが現状。